

いしがきエコアイランドの推進を評価!

環境負荷低減国民運動支援地域振興事業に 石垣市商工会が交付決定(経済産業省)

経済産業省では、平成20年度の環境負荷低減国民運動支援地域振興事業責補助金の公募(応募総数51件)から、石垣市商工会を交付先(交付決定総数13件、石垣市商工会への補助額1,000万円)として決定した。京都議定書で約束した6%の温室効果ガス削減を実現するためには、個人や企業に止まらず、地域社会を構成する各組織体が相互に連携・協働しつつ、持続可能な国民運動の展開が不可欠となっている。本事業は、それを支えるビジネスの展開を支援し、環境負荷低減に資する地域展開を図るのが狙い。急激な観光入域客増加による自然環境への負荷、これからの観光地開発計画について、地元は危機感を感じている。石垣市商工会では、昨年度の「全国展開支援事業」で、環境に優しい持続的なモニターツアーを企画実施し、ツアー客から好評を得た。本事業提案では、「石垣島の原風景を取り戻す」をキーワードに、島内環境負荷低減に協力する観光客にエコポイントの付与、カーボンオフセットツアーの開発などを目標にしており、3部会のワーキングチームで取り組む。

※カーボンオフセットとは・・・

(温室効果ガスの削減努力、若しくは削減不可能な場合、その排出量に見合った削減活動に投資協力をする活動)

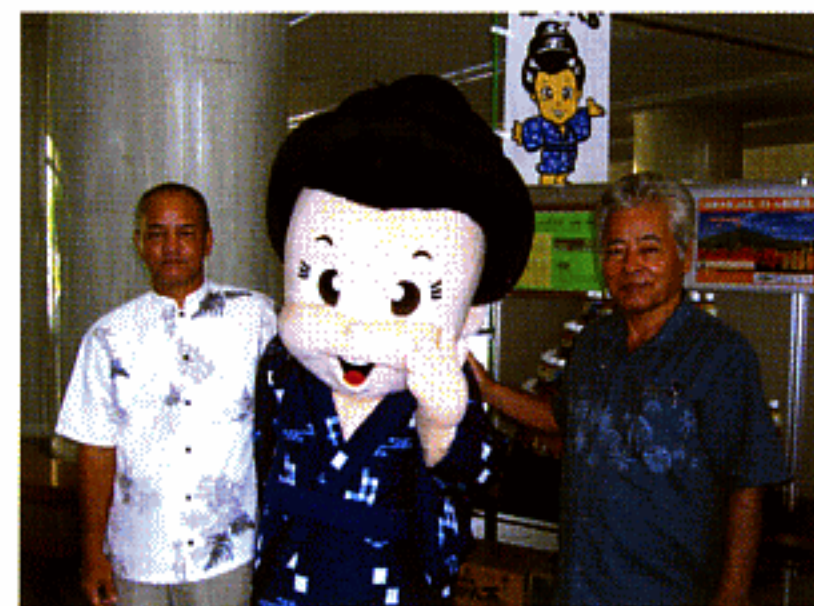


石垣島の原風景を訪ねるモニターツアー
(昨年度の全国展開支援事業)

「女流歌人・ナビちゃん登場!」 琉歌大賞をパネル展示



恩納村歴史的琉球歌人「恩納ナビちゃん」の才覚と琉歌の普及に努めたイベント「琉歌大賞コンテスト」が、今年で18回目を迎え、その記念イベントが7月14日から5日間、県庁1階ロビーで開催された。イベント初日には、平成4年より村のイメージキャラクターとして採用した「ナビちゃん」ちゃん着ぐるみのお披露目があり、あちらこちらで来訪者の写真を撮る姿が見られた。会場には、歴代の優れた大賞作品が展示され、琉歌愛好家の方々がじっくりと観賞していた。「ナビちゃん」は、今後琉歌の文化普及に向け、当村の主要なイベントへの参加が予定されている。本年度の作品募集は、8月8日に締め切られ、表彰式は11月9日、恩納村コミュニティセンターで行われる。



恩納ナビちゃん(右は富山恩納村商工会長、
左は渡嘉敷副会長)

50万円
助成決定!

座間味村商工会女性部に おきぎんふるさと振興基金

陸域観光ツアーの開発を目指す座間味村商工会女性部は、エコツアーガイド育成事業提案を、株式会社沖縄銀行の助成事業「おきぎんふるさと振興基金」に応募した結果、このほど採択の通知があり、50万円の助成金交付を受けた。当女性部は、昨年沖縄県商工会女性部提案公募型事業で、食用になる島の野草分布調査と野草カードを制作しており、その実用化を課題としていた。振興基金事業では、陸域ガイドの人材育成とともに、マリンレジャーとダブルで楽しめる陸域観光メニューの開発を試みる。事業プランには「陸域観光モニタリングツアー」も含まれており、島外へモニター客の呼びかけも行う。「集客に頭を悩ませる冬場の観光にはずみがつく」と、会員から期待が寄せられている。



平成20年度おきぎんふるさと振興基金認証受賞式に参加した宮平女性部長(後方向かって右側から3人目)